



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2020. 2

Vol. **8**



ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

ほの暗き
山路を朱に
染めはゆる
落花のツバキ
影やいたわし

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
第5回オリエンテーション&クリスマス会報告	4
2020~2021年度	
地区セミナー・協議会日程のお知らせ	5
R文庫通信 [380]	5
会員数・出席報告	6
新会員・物故者紹介・寄付者紹介	7
鎮西学院高等学校の平和教育・ インターアクトクラブの活動について	9
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



ライラ(R Y L A)の在り方を考える。

2019 - 2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

来る2020年2月9日に佐賀市で佐賀ロータリークラブがホストとなり、第12回全国R Y L A研究会が開催されます。

このニュースを聞かれたロータリアンは「えーっ、R Y L Aってそもそも何?」とか「R Y L Aはうちのクラブでやった事があるけどむずかしいなあ、えーっ、全国レベルを開くの?」とかの疑問が出てくると思います。当然です。地区で行われるR Y L Aは56クラブが年1回の開催担当ですから、通常の経歴のロータリアンならば、入会中、1回当番クラブになるかどうかです。自分のクラブが当番に当たらなければR Y L Aとは何か? どう運営すればいいのか? そしてその意義は? ということを真剣には考えません。

ではR Y L Aとは何でしょうか。R Y L A (Rotary Youth Leadership Award) とは「地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを養成すること」です。

R Y L Aは1959年にオーストラリア・クイーンズランド州創設100周年を記念してイギリス王女を派遣した際、ブリスベーンR Cが王女と同じ年代の青年を集め、社会教育プログラムを実施したのが発祥です。日本では1976年第366地区(今の大阪中央地区と大阪南部地区)で開催され、全国に広がりました。目的は「地域社会の若い人々の指導力および善良な市民としての資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる機会を設ける。」ということです。その後、ガバナーの権限、目標、活動カリキュラムの中心、R Y L Aにおける活動内容、R Y L Aに関するロータリアンの活動、R Y L Aセミナーおよびプログラム等がR I理事会で次々と決定されてきました。しかしながら、多くの地区におけるR Y L Aでは1年に1回のクラブ持ち回りで、講演者をお願いし、青少年を集め、恒例として一泊の研修を終えることが恒例となり、R Y L Aの意義が担当クラブで論議されたり、R Y L Aの成果としてライラリアンがその後、どのようなになったか? が問われることなく過ごしてきたのが現状なのです。

しかし、第2680地区を中心とした40数年にわたる、全国大会のR Y L A研究会とセミナーの活動は全く異なっていました。その中心に日本のR Y L Aの発展に大きく寄与された方がお二人おられます。元R I理事今井鎮雄P Gと深川純一P Gです。今日、R Y L Aが素晴らしいものに育ったのは、このお二人による素晴らしい提言、御指導の賜物と思います。今井氏は実践の指導において、深川氏はロータリー理念に基づくR Y L A理論の提言を構築され、お二人で日本におけるR Y L Aをけん引してこられ、多くのロータリアンとライラリアンに感動を与えてきました。

今井鎮雄P Gは青少年、特に弱者に対する考えの基礎として「みんながどう生きるか?」が問題であり、問題解決のための研修手段として御自身のYMCAでの経験を活かして、グループ・ワークを取り入



られました。「**組織キャンプ教育**は集団の中での人間の成長、個人の性格がグループ内でどのように変容していくかを学ぶ場である。グループの中で人は育つ。だから、メンバーの個人成長を助けようと試みるためには、グループという場でR Y L Aを育成されるべきである。」これが今井氏の考えで、瀬戸内海の余島でR Y L Aキャンプが実行される基盤となりました。

深川純一P Gは「人間の魂の在り方」としてどのようにR Y L Aを発展させるべきかを考え、R Y L Aの**3つの柱、基礎的要素**を提言された。

1) 受講生の個人倫理の確立

2) R Y L Aを運動体として構成する原理

3) 時代の変遷とともに変わりゆく地域社会のニーズに対して、受講生たちが如何に実践していくのか要するに、地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを育成すること、これが**R Y L Aの基本**であると述べておられます。

お二人のご努力で今日のR Y L Aの基本理念と構想があります。このことは、全国R Y L A研究会に出席された歴代のR Y L A地区委員長、パストガバナーの皆様はご承知の事と存じます。だからこそ、第2740地区で全国大会を開催するハードルの高さに困難さを感じる方が多いと思います。しかし、今、全国に広げるという行動をしなければ、お二人の長年の御努力は報われません。是非、**我々の後に次ぐ、若いリーダーの為にたちあがろう**ではありませんか。

今回、当地区に全国R Y L A研究会開催の要請がありました。同時に、全国大会の研究会とセミナーを実現されてきたことを引き継ぐとき、その重さは計り知れません。今回の開催は当地にとって、既存の在り方を変革する最良の機会でもあります。第2680、2660、2670地区をはじめ34地区の多くのロータリアンやライラ学友、チームライラが応援にやってきました。R Y L Aのセミナーが青少年にとって、人生観が大きく変わるきっかけになるようなものにする為に、今回の研究会でそれぞれの地区のR Y L A委員会がどのような改革が必要であるのかを学ばなければなりません。九州でR Y L Aセミナーが開催できる日が来ることを夢見て、今回の研究会を楽しみましょう。

最後に、この試みに快く賛同し御協力いただいたR I J E M事務局、第2680地区のR Y L A委員会、第2740地区R Y L A委員会の皆様、会場の提供をしていただいた西九州大学、企画・運営していただいた全国大会副実行委員長の野口清P G、山下雄司会長はじめとする佐賀R Cのクラブの皆様、また、インターアクトの皆様に深く感謝申し上げます。

(引用；第10回全国R Y L A研究会報告書より)

2020年2月9日(日曜日) 西九州大学佐賀キャンパス 佐賀市神園3-18-15 電話 0952-31-3001

9時開場、10時開会、終了15時50分

特別講演 「何故！ ロータリーがR Y L Aを行うのか！」 三木清R I 理事

そのほか、2019 J A P A N R Y L A報告、全国R Y L A委員長会議、分科会

第5回オリエンテーション&クリスマス会報告

R I D2740地区 国際青少年交換委員会 インバウンドコーディネーター YEO 下津浦 正明

新年明けましておめでとうございます。

本年度は、R I D2740地区国際青少年交換委員会交換プログラム（15歳～19歳）に来日している交換留学生は、4カ国カナダ、米国、オーストラリア、台湾より、ケンジー フォード（加）、ミワ クレア（加）、イアン ブラック（米）、ジェイムス ウィットフォード（豪）、ルビー バーンズ（豪）、ティファニー ポー（台湾）の6人です。

本年度5回目の12月度委員会は、期末までの活動の内、ジャパンツアー、派遣学生次年度プログラム参加学生選考、などです。本年度から派遣学生の必携品目共同購入を試みております。

委員会の後は、毎年恒例のクリスマス会が催されました。クリスマス会の初めに、カナダからの留学生ケンジー フォードさんがフルートの演奏とクリスマスソングをとともロマンチックに熱唱してくれました。

クリスマスの雰囲気を盛り上げてくれて、本当に感謝です。

会の終わりには、皆それぞれが持ち寄った、小さなクリスマスプレゼントの交換です。大きく輪になって、音楽に合わせて手から手へプレゼントを回します。音楽が止まった時に手にしたプレゼントが貰えます。この月信が配布される頃には、オーストラリアからの2名が既に帰国しておりますが、このクリスマス会はその2人（ジェイムス ウィットフォード君とルビー バーンズさん）の送別会も兼ねています。素晴らしく日本語も上達して、2人とも学校の人気者です。きっと、直ぐにまた、日本にやってくると思います。親善大使として十分な役目を果たしてくれました。

2020年度は当地区からは過去最大の7人の学生を派遣する予定です。国際青少年交換委員会も大変忙しくなります。

委員会は、受け入れて頂いた各学校を回り、学費の免除、スクールバスの費用、制服の貸し出し、などなど沢山の無償のご支援をお願いして、スポンサークラブの負担の軽減に努めています。

皆様には、益々のご支援、ご協力を仰ぐことになりましたが本年度も、何卒宜しくお願い致します。





2020～2021年度 地区セミナー・協議会日程のお知らせ

◆地区チーム研修セミナー

日時 2020年2月23日(日) 登録受付 14:00/開会 14:30 会場 割烹 清川 (鹿島市)

◆会長エレクト研修セミナー

日時 2020年3月15日(日) 登録受付 12:30/開会 13:30 会場 割烹 清川 (鹿島市)

◆地区委員会キックオフミーティング

日時 2020年4月12日(日) 登録受付 12:30/開会 13:00 会場 鹿島市 エイブル

◆地区研修・協議会

日時 2020年5月17日(日) 登録受付 12:30/開会 13:30 会場 武雄市文化会館

※懇親会会場 武雄センチュリーホテル

◎2020～2021年度地区大会

日時 2020年10月23日(金)～25日(日)

会場 武雄市文化会館

国際ロータリー第2740地区 ガバナーエレクト事務所

〒849-1315 佐賀県鹿島市大字三河内甲290-7

TEL: 0954-69-1705 FAX: 0954-69-1706

E-mail: ri2740hanashima@athena.ocn.ne.jp

文庫通信 [380]

ロータリー文庫通信380号 2019年12月 ロータリーの古典文献から今を考える

10月初旬に松宮元R1理事から論稿が届いた。以前、文庫から「ロータリーの解析」の原書のコピーを持ち帰られたことがある。原書を座右に置き、未来のロータリーの姿に思いを馳せ、思索を重ねて書き上げた論稿だと思う。1935年「ロータリーの目的」がほぼ今の形になった頃、そこに込められたロータリーの基本理念は何だったのか。1927年オステンド国際大会を契機に四大奉仕部門を取り入れた時が、ロータリーの最初の大きな転換期であった。今はそれ以上の大きな転換期を迎えている。2019年規定審議会制定案19-117の採択により、国際ロータリーは「公共慈善団体」を目指すことになったのだから。皆さんの今の思いを是非文庫へ寄稿してください。(N.S.)

書名	著者/出版社	発行年	頁	※
「ロータリー解析(The Meaning of Rotary)」を読む	松宮剛 -	2019	10P	※
ロータリーの綱領	直木太一郎 -	友: 1972 ・2月	5P	※
THE MEANING OF ROTARY	Vivian Carter R.I.B.I	[1927]	82P	※
The Meaning of Rotary ロータリー解析	Vivian Carter 著; 田中毅訳 -	1999	101P	※
The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3	- R.I.	1931	53P	※
目標設定プラン-四大奉仕-(The Aims and Objects Plan Pamphlet No.3)	東昭二訳 -	-	39P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

2019年11月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	68.4	74	5	75	5	0	1	-1	1
	小城	4	69.1	30	2	29	3	0	1	-1	-1
	牛津	4	68.6	30	0	34	1	0	0	0	4
	多久	4	75.3	38	5	38	4	0	0	0	0
	佐賀大和	3	62.3	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		68.8	198	18	202	19	0	2	-2	4
第2グループ	佐賀西	3	74.4	38	2	43	3	0	0	0	5
	佐賀北	4	63.4	45	1	46	2	1	0	1	1
	佐賀南	4	75.4	38	4	40	4	0	1	-1	2
	神埼	4	85.7	37	4	38	4	1	0	1	1
	佐賀空港	3	72.1	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		74.2	176	12	185	14	2	1	1	9
第3グループ	有田	3	75.3	28	0	31	1	0	0	0	3
	武雄	3	92.7	56	5	55	5	0	1	-1	-1
	鹿島	4	90.6	34	4	33	4	0	0	0	-1
	嬉野	4	89.8	26	2	27	2	1	0	1	1
	大町	4	63.3	11	0	15	0	0	0	0	4
	太良	4	92.5	10	0	10	0	0	0	0	0
	小計		84.0	165	11	171	12	1	1	0	6
第4グループ	唐津	3	90.5	61	0	61	0	0	0	0	0
	伊万里	3	88.9	29	0	29	0	0	0	0	0
	唐津東	4	89.0	50	0	51	0	0	0	0	1
	唐津西	4	90.9	34	0	35	0	0	0	0	1
	伊万里西	4	94.5	41	0	41	0	0	0	0	0
	唐津中央	4	89.6	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		90.6	252	3	255	4	0	0	0	3
第5グループ	佐世保	4	100.0	78	0	79	0	0	0	0	1
	平戸	4	85.0	29	2	28	2	0	0	0	-1
	北松浦	4	93.9	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	4	80.4	24	4	24	3	0	0	0	0
	松浦	4	86.2	26	1	28	1	0	0	0	2
	小計		89.1	182	7	184	6	0	0	0	2
第6グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	64	0	0	0	0	2
	佐世保東	4	77.0	23	0	24	0	0	0	0	1
	佐世保北	3	100.0	40	2	44	2	4	0	4	4
	佐世保中央	4	87.6	46	1	47	1	0	0	0	1
	佐世保東南	4	61.3	39	0	40	0	0	0	0	1
	HTB佐世保	4	75.8	23	2	23	2	0	0	0	0
	小計		83.6	233	5	242	5	4	0	4	9
第7グループ	大村	4	80.6	48	4	49	4	0	0	0	1
	島原	4	78.0	30	2	31	2	1	0	1	1
	雲仙	3	91.8	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	4	92.9	24	1	26	2	2	0	2	2
	島原南	4	65.0	25	0	25	1	0	0	0	0
	大村東	3	86.6	37	3	38	4	0	0	0	1
	小計		82.5	178	10	183	13	3	0	3	5
第8グループ	諫早	5	86.2	72	0	75	0	0	0	0	3
	諫早北	3	87.0	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	3	93.1	45	0	45	0	1	1	0	0
	諫早多良見	4	93.3	32	0	34	0	0	0	0	2
	諫早南	2	80.0	14	8	15	9	0	0	0	1
	小計		87.9	237	12	243	13	1	1	0	6
第9グループ	長崎	3	91.0	74	0	75	0	1	0	1	1
	福江	3	84.3	33	0	34	0	0	1	-1	1
	長崎北東	4	77.5	41	3	41	2	0	0	0	0
	福江中央	3	76.5	21	0	21	0	0	0	0	0
	長崎西	3	86.9	43	1	43	1	0	0	0	0
	長崎琴海	3	65.0	11	0	11	0	0	0	0	0
	小計		80.2	223	4	225	3	1	1	0	2
第10グループ	長崎北	3	80.1	80	0	80	0	1	0	1	0
	長崎南	3	86.0	72	0	72	0	0	1	-1	0
	長崎東	5	77.6	40	2	43	2	0	0	0	3
	長崎みなと	4	82.7	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	3	98.4	55	0	54	0	0	1	-1	-1
	長崎出島	4	77.1	71	12	72	12	0	0	0	1
	小計		83.6	348	15	351	15	1	2	-1	3
56クラブ合計			82.5	2,192	97	2,241	104	13	8	5	49

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年11月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀北 R C
吉野 雅晴 君
(株)吉野商店
代表取締役社長



佐賀北 R C
尾辻 和明 君
(株)九電工佐賀営業所
所長



神埼 R C
野田 明裕 君
トヨタ紡織九州(株)
専務取締役



嬉野 R C
吉牟田誠一郎 君
吉牟田建材(株)
代表取締役



佐世保北 R C
早田 貴志 君
(株)オフィス 早田
代表取締役



佐世保北 R C
戸畑 教幸 君
ラウンジ伊勢
代表



佐世保北 R C
永石浩一郎 君
(株)エコー
代表取締役



佐世保北 R C
村上 英毅 君
医療法人愛和会 村上内科
理事長・院長



島原 R C
横田 直樹 君
ホテル南風楼
営業課長



大村北 R C
末吉 弘丞 君
セントラル開発(株)
総務部長



大村北 R C
小柳恵美子 君
ビッグ・カントリー
社長



諫早西 R C
山口 博幸 君
コーヨー
代表



長崎 R C
山下 達矢 君
全日本空輸(株)長崎支店
支店長



長崎北 R C
平尾 豊幸 君
大和ハウス工業(株)長崎支店
支店長

物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



佐賀 R C
七田 秀徳 君
(享年81歳)



武雄 R C
八谷 時彦 君
(享年77歳)



諫早西 R C
木村 暢義 君
(享年64歳)



福江 R C
有川 一男 君
(享年73歳)



長崎南 R C
川脇 輝也 君
(享年79歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	緒 方 信 行	佐世保北
	福 田 俊 郎	佐世保北
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	二ノ宮 健	佐世保北
	村 瀬 高 広	佐世保北
	近 藤 竜 一	佐世保北
ポール・ハリス・フェロー	西 山 保 広	有 田
	朝 長 万左男	長 崎
ベネファクター	蒲 池 芳 明	佐世保北

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	福 田 俊 郎	佐世保北
米山功労者マルチプル	鳥 巢 維 文	長 崎
米山功労者	野 中 績 宏	武 雄
	上 杉 芳 邦	佐世保南



鎮西学院高等学校の平和教育・インターアクトクラブの活動について

ガバナー月信編集委員 川 崎 健 (諫早北RC／鎮西学院高等学校校長)

1881年アメリカ人宣教師C. S. ロング博士によって長崎市東山手に建てられ、今年で創立138周年の鎮西学院は、1945年8月9日長崎市に投下された原子爆弾によって、当時西日本一と称された地上4階、地下1階建ての鉄筋コンクリート建ての校舎が一瞬にして倒壊し、在籍していた教職員・生徒百数十名の尊い命が奪われるという、未曾有の大惨事を経験しました。あの日校舎内で被爆された千葉院長が発せられた叫び、“War is hell.”「戦争は地獄だ」という言葉を忘れぬよう、今現在は諫早の地に移転しておりますが、実際の被爆校として、平和教育を継続して行っておりまゐりました。毎年8月9日には同法人内の幼稚園から高校・大学までの児童・生徒・学生が一堂に会し、本部棟前にあります原爆慰霊碑に対して献水及び献花をして御霊の安らかならんことを祈念し、また不戦の誓いを新たにしているところであります。

今年度は「平和大行進」を、原爆記念日前日の8日に、3年ぶりに実施いたしました。これは、被爆地である竹の久保の旧校舎跡地にある現活水高校から、諫早にある鎮西学院高校まで約30kmの行程をクラスごとのリレー方式で繋ぎ歩き、参加者全員で平和の大切さを共に考え、社会に訴えかけるというものです。趣旨をご理解いただいた上で、本校関係者のみならず、諫早北RCのロータリアンの方々にも多数御参加いただきました。真夏の暑い日ではありましたが、長崎駅における出発式には田上長崎市長、諫早市役所前の上野市長には宮本諫早市長にも御参加いただき、大変意義のあるものとなりました。

更に今年は、本校インターアクトクラブの特筆すべき出来事として、以下の二つの出来事がありました。

一つ目は本校国立大学進学コース2年在籍の内山洸士郎君が、第22代の高校生平和大使の一員となり大役をこなしたということです。彼は6月にバチカンに赴きローマ教皇との謁見を果たし、核兵器の廃絶と世界平和の実現を直接訴え、8月にはジュネーブの国連本部に高校生1万人署名活動で集めた活動史上最多211,547筆の署名を提出し、更に11月には、来日したローマ教皇と長崎で再会を果たし、記念式典においてローマ教皇に点火のための火種を渡すという大役を次々とこなしました。彼はそこに至るまでに、自ら進んで平和大使に志願し、毎週街頭に立って署名活動を行い、核兵器の廃絶と世界平和の実現を訴え続けてくれました。数多くのメディアに対して、自らの平和に対する強い思いを隠さず堂々と受け答える姿には、自分の学校の生徒ながらも、強く感銘を受けました。

二つ目は、本校グローバルイングリッシュ（GE）コース2年在籍の宮田杏さん、中田呼夏さん、大崎蒼生君の3名が、この夏休み中に海外ボランティアの研修に参加したということです。宮田さんは日本赤十字社主催の南太平洋バヌアツに（全国で8名）、中田さんは同じく日本赤十字社主催のベトナムに（九州地区で15名程度）、その狭き門を潜り抜けてそれぞれが参加する資格を得ました。また大崎君は、長崎ウエスレヤン大学のタイ・カンボジアのスタディーツアーに唯一の高校生として参加しました。宮田さん・中田さんは、それぞれが日本赤十字社から両国に送られた支援金が具体的にどのように使われているのかという現場を見学したり、それぞれその地域の方々との交流を行ったりなど、とても貴重な経験を積んでまいりました。また、大崎君は、当地の孤児院を巡り物資を届けたり、そこで子どもたちや地域の方々との交流したりという経験を積んできました。元々ボランティア活動や国際貢献といったことに興味があった3人は、帰国後インターアクトクラブ内において報告会を行い、その様子を部員たちと共有するなど、ますます意欲的に様々な活動に取り組んでいます。

高校生時代にこうした実体験を積むことはその後の人生に大きな違いを生むものと思います。彼らの偉業を称え、今後を期待すると同時に、その後に続く後輩たちを育てることが本校インターアクトクラブの責務の一つであると感じているところです。



平和大行進中の姜院長



高校生平和大使の内山君



日本赤十字社バヌアツスタディーツアー



日本赤十字社ベトナムスタディーツアー



長崎ウエスレヤン大学タイ・カンボジアスタディーツアー

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

まえがき

この詩に中田直宏氏が作曲された混声合唱曲が完成し
二〇〇〇年九月二十四日に初演であった。今は見る
影もない広大な干潟に、子供らは滑り板一枚で漕ぎ出し、
溺死してシャッパに化身したという壮大なスケールの歌。

有明海の思ひ出

伊東 静雄（詩人）

馬車は遠く光のなかを駆け去り
私はひとり岸辺に残る
わたしは既におそく
天の彼方に
海波は最後の一滴まで沸り墜ちたり
沈黙な合唱をかし処にしてゐる
月光の窓の恋人
叢にある犬 谷々鳴る小川……の歌は
無限な泥海の輝き返るなかを
縫みながら
私の岸に辿りつくよすがはない
それらの気配にならぬ歌の
うち顫ひちらちらとする
緑の島のあたりに
遙かにわたしは目を放つ
夢みつつ誘はれつつ
如何にしばしば少年等は
各自の小さい滑板にのり
彼の島を目指して滑り行っただらう
あゝわが祖父の物語
泥海ふかく溺れた児らは
透明に 透明に
無数なしゃっばに化身をしたと

〈初演演奏会プログラムより〉

編集後記

2月といえば節分。江戸時代以降は特に立春（毎年2月4日ごろ）の前日を指す場合が多い。長崎市の手熊・柿泊では「モットモ爺」という風習があるらしい。小生は大阪在住経験があるので専ら恵方巻きの丸かぶりである。（雅）